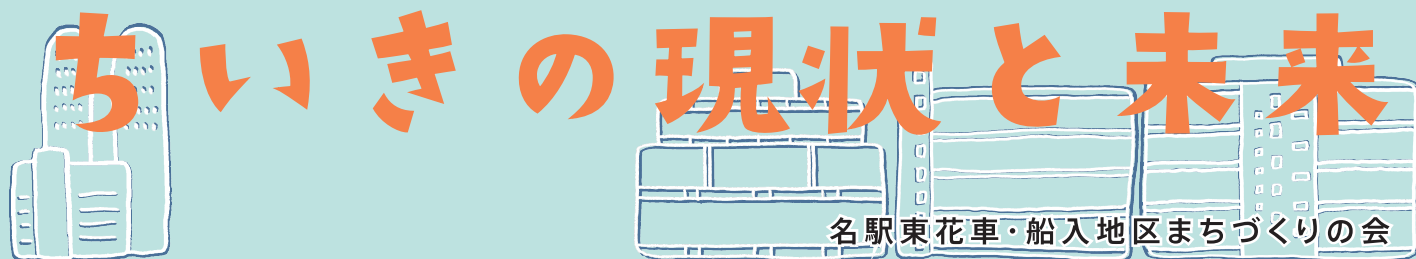


アンケート調査からみた



1 まちづくりの会の概要

名駅東花車・船入地区まちづくりの会（以下、当会といいます）は、名古屋市中村区名駅五丁目のうち錦通より北側のエリアを活動地域とした「地域まちづくり活動団体」です。

地域価値の向上を目指して、住民・地権者・関係主体の相互の交流や連携を深め、地域資源や特性を活かした自発的かつ自立的な市街地の形成、改善及び活用に関する取り組みを活動目的としています。

2 アンケート調査の目的

将来の地域まちづくりの方向性を示す「まちづくり構想」の検討を進めていくために、地域の住民、地権者並びに事業者の方々のお考えやご意見を伺うために実施しました。どのような立場の方でも回答をしやすいような構成に配慮し、得られた結果やご意見は今後の当会の活動に役立てていきたいと考えています。

なお、このアンケート調査は名古屋市の地域まちづくり活動助成を受けて実施しました。

3 アンケート調査の要領

- 調査対象 活動地域の住民、地権者、事業者
- 調査期間 2022年1月26日～2月15日
- 調査方法 資料と調査票を配布もしくは郵送し、郵送にて回収
- 回答方法 選択肢方式と自由記入欄を併用
- 配布資料 名古屋市の地域まちづくりへの取り組み紹介資料
名駅東花車・船入地区まちづくりの会の活動紹介資料

4 調査結果の概要

- 回収結果 合計827通配布し、回収数106通（回収率12.8％）
- 回答者属性 ①地域住民24％ ②地域地権者35％ ③地域事業者(就業者)36％ ④その他 5％

住民、地権者、事業者、それぞれ偏らずバランスよく回答を得られ、回答者の約6割の方が当会について何らかの認知をいただけていることが分かりました。認知されていない約4割の方からもアンケートを提出いただき、当会の活動への賛同をいただけるコメントも頂戴できました。

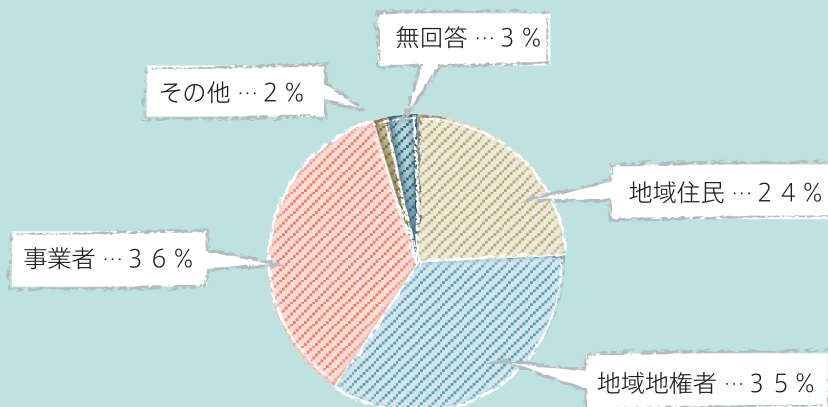
また、構想づくりに関する記述回答では、「住みやすいまちづくり」、「安心安全なまちづくり」、「賑わいあるまちづくり」、「再開発への期待」などがみられ、そのほか多様な意見が寄せられました。

地域の住み心地や当会の取り組みについて、皆様がどのように感じておられるのかをお聞かせいただくことができ、今後の活動の進め方や課題の点検などに活かすことのできる調査となりました。

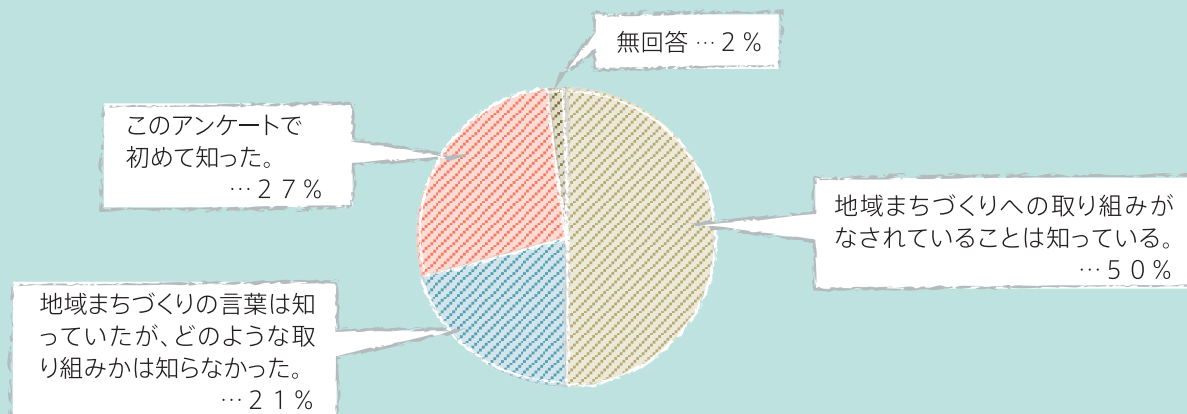
アンケート調査にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

5 調査結果の分析

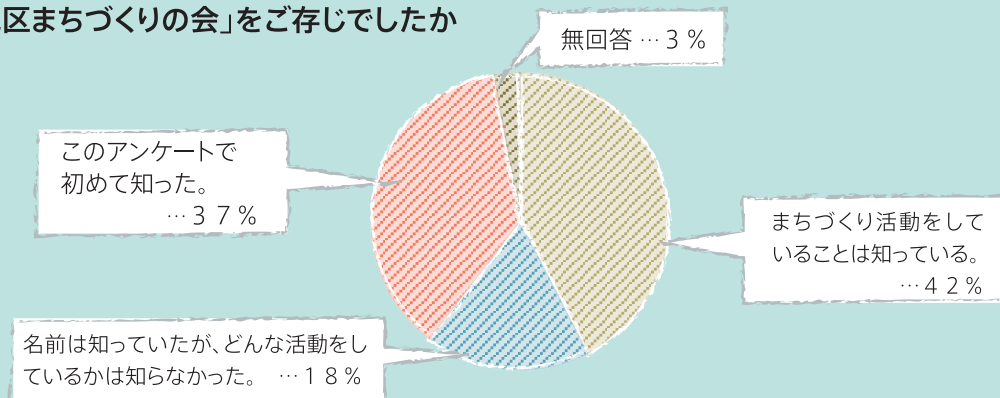
回答者の当地域への関り(属性)



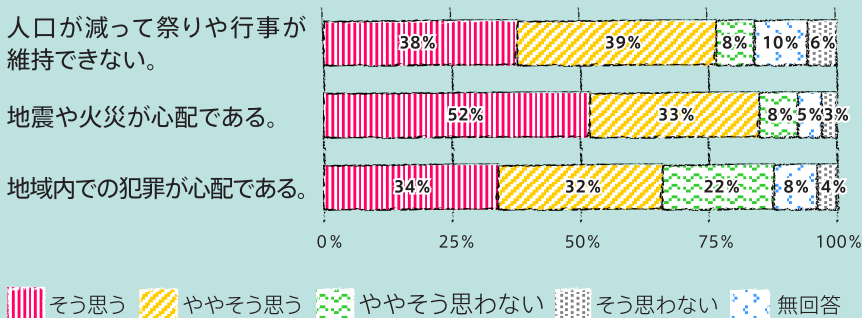
問1 名古屋市の「地域まちづくり」への取り組みをご存じでしたか



問2 「名駅東花車・船入地区まちづくりの会」をご存じでしたか



問3 この地域の現状について



[その他のご意見]

狭い道路の問題、地震や水害等の災害の問題、夜の照明や騒音など治安問題、子育てや若い世代の生活環境などへの意見が多く、防犯カメラや街灯の設置を望む声もある一方、駅から近くて住みやすいとの意見もありました。

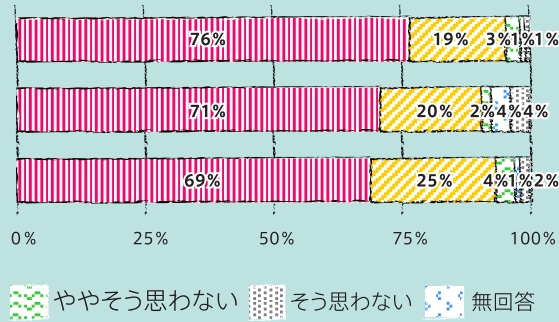


問4 この地域の将来(10～20年後)へのお考え

将来も人が安心して住める街にしたい。

店舗や会社が集まる活気のある街にしたい。

地域の歴史や伝統を大事にした街にしたい。



[その他のご意見]

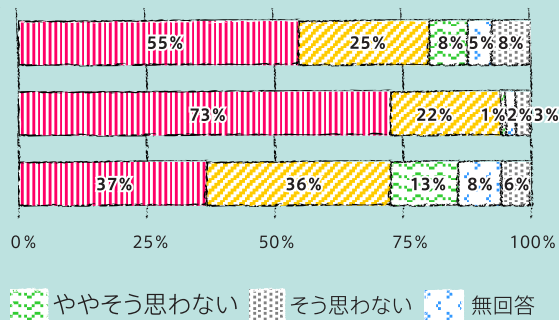
祭りや古い町並み、老舗企業など地域の歴史や伝統を大事にする意見が多くあり、公園など子育て環境を望む意見、日用品の買い物など便利なまちづくりや活気を望む意見も見られました。一方で、再開発や高層マンションなどの大規模な開発を望まないとする意見も見られました。

問5 今後取り組んでほしい「地域まちづくり活動」について

生鮮食品が近くで買えるなど日常生活が便利な住環境づくりに取り組んでほしい。

地震・火災・大雨などの災害に強いまちづくりを進めてほしい。

誰でも参加できる賑わいある交流イベントを開催してほしい。



[その他のご意見]

土日のマルシェや交流イベントなど、日常生活に寄与する活動や、若い子育て世代が集まるイベントなどへの要望が多くありました。また、災害時の避難訓練や情報などの防災活動への希望、緑化や街並み環境活動などの意見もあります。また、再開発事業や商業施設誘致など開発への期待もみられました。

問6 当会へのご期待、または「まちづくり構想」について

(寄せられた主な声)

- ・水辺、神社、お寺、商店あり、街並みをつくる素材として良いものがたくさんあると思う。
- ・全世代が安心して住めるまちづくり構想、企業の従業員も参加できるまちづくり構想をお願いします。
- ・地域交流イベントには機会があったら参加したい。
- ・全てが満足できるやり方はないと思うが、互いの立場を尊重し合い皆が納得できるまちづくりを望む。
- ・地域内企業と連携して最先端技術を活用したまちづくりに乗り出してもらいたい。
- ・地域住民の理解を得ながら、具体案や計画を明らかにした上で進めていただくことを願っている。

名古屋市地域まちづくりアドバイザー〔藤森幹人様〕からの助言 ～まちづくり構想に向けて～

まちづくり活動は地域の声を聞くところから始まり、このアンケートはその第一歩になります。この地域は、住む人、働く人、事業する人、土地建物所有者など、様々な立場の人が混じって成り立ってます。アンケートの回答者も多様ですが、地域の現状への課題(問3)や、地域の将来像(問4)、まちづくりの取組み方向(問5)のいずれも共通点が多くみられ、構想づくりに必要な地域関係者の共通認識の素地は十分にあると考えられます。

その一方で、再開発や高層建物など、まちづくりの方法やアプローチについては考えの違いも見られます。こうしたハード整備は個別の利権や価値観がからんで合意形成が難しい面もありますが、共通の課題を地域全体で解決する方策を考えながら、徐々に相互の理解を深めていくことが重要です。

また、防災活動や交流イベントなど、ソフトな取組みへの期待も多くみられました。まちづくり構想の話し合いばかりでなく、成果がすぐに目に見えるソフトな活動(地域防災活動、イベント、清掃活動など)にも並行して取組むことで、地域の人々から幅広い理解と信頼を得られるまちづくり活動になることが期待されます。

名古屋市地域まちづくり活動団体として認定